

民謡 境さんご節 (鳥取)

華村純子

(三味線) 藤本 透也
江川 麻知子
R 八 渡 辺 輝 懂
渡 辺 三 壯 懂
美 波 波 駒 次
(大 鼓) 美 波 駒 次
(鉦) 美 波 駒 次
(唄ばやし) 白 瀬 春 陽

～さんごさんご 名は高けれど

さんごさんごの 器量じゃない

(アリヤ 八反畑の さや豆が

一さやはしれば 皆はしる

わたしアあなたに ついてはしる

サアサ ついて来い ついて来い)

～伯耆境の 港が開き

裏も表も ない日本

(アリヤ 山は大山 海では境

境港が みずかれて

かかる山ほど 荷を積んで

出船入り船 ままとなる

アリヤ 御繁盛 御繁盛)

～恵比寿大黒 鯛釣り上げて

竿をかついで 福踊り

(アリヤ ひょうたんばかりが

浮きものか

わたしもいささか 浮いてきた

サアサ 浮いた 浮いた)

(カッコ内唄ばやし)

(3分10秒)

民謡 紙すき唄 (鳥取)

華村純子

(三味線) 藤本 透也
江川 麻知子
R 八 渡 辺 輝 懂
渡 辺 三 壯 懂
美 波 波 駒 次
(大 鼓) 美 波 駒 次
(鉦) 美 波 駒 次
(唄ばやし) 白 瀬 春 陽

～因州因幡の 手すきの紙は

(ハア コリヤサカ サツサイ)

殿の御用の おさめ紙

アリヤ おさめ紙

(ハア コリヤサカ サツサイ)

(以下唄ばやし略)

～因幡手すき紙 お殿さんにおさめ

蝶の御紋を ゆるされた

アリヤ ゆるされた

～紙は手ですく 手は唄ですく

唄はすき子さんの 心意気

アリヤ 心意気

～朝も早よから 紙アすくけれど

晩にや殿御に 手紙書く

アリヤ 手紙書く

(3分58秒)